# 3 MORIO SNAP モリオスナップ

モリオの日常や後援会の写真集です

沿道でNAHAマラソンに参加するジャガーの皆さんを応援するモリオ （H20 年 12 月）

那覇市内の全小中学校が参加して開催された第3回「やる気・元気　旗頭フェスタ in なは」に家族で参加。（H20 年 12 月）

地域力が原点！地元小禄地区の生年祝いに参加。（H21 年 2 月）

## 後援会 NEWS

### 當間一郎後援会長、 第26回東恩納寛惇賞受賞！

「この５０年、組踊や舞踊などを楽しみながら資料を収集してきた。まさか自分が選ばれるとは、びっくりした。大変ありがたい」

第２６回東恩納寛惇賞に選ばれた當間一郎さんは、驚きつつも満面の笑みで受賞の喜びを語った。

埋もれていた地域の組踊の発掘や新たな組踊台本の収集、復活上演といった沖縄芸能研究のほか、各市町村や芸能団体と一緒になって、台本研究からけいこまで立ち会うなど、実演家の育成にも貢献してきた。當間さんが仕掛け人となって一九七五年に発足した沖縄芸能史研究会は、現在三十四年目を迎える。研究者だけでなく、舞台に立つ人も一緒に勉強する会で、これまで一度も開催しなかった月はない。「持続することが大切で、努力以外にはない」と力強く語る。

組踊と開けば、沖縄全域どこにでも足を運んだ。

「評価は後世の人がする。今後も組踊と沖縄の芸能を見続け、研究を続けたい」と述べ、決意を新たにしていた。

（H21. 3. 11 琉球新報より）

握手を交わす當間一郎後援会長とモリオ

# 4 NEWS PAPER 新聞掲載記事

「戦後処理」で県を批判



記者席

○…「旧軍飛行場用地問題は、最後まで国の責任による補償を求めないといけない」と話すのは當間盛夫県議（改革）＝写真。沖縄特別振興対策調整費の枠内での補償を進める県を、「国に何も言えていない。戦後処理のビジョンがなさ過ぎる」と批判。「県三役自体が（国との交渉の）限界と言うのだからあきれる」と指摘する。16日の予算総括に知事の出席を求めて、「議会答弁がない知事に、戦後処理の認識を問いただしたい」と意気込む。

（琉球新報 H21.3.11 掲載）

## モリオへのご連絡はこちら


**當間モリオ後援会**

〒901-0152　那覇市字小禄390番地　1階

TEL 098-852-0170　FAX 098-859-1975

**沖縄県議会 改革の会**

〒900-8501　那覇市泉崎1－2－3
沖縄県議会内　会議室 601

TEL 098-866-2584　FAX 098-866-2575

Mail kaikaku@oki-gikai.jp


mori まっすぐ真剣に政治に挑む！！

沖縄県議会議員

# 當間モリオ

## 議会活動報告

08’7月 ～ 09’2月

HP http://www.tomamorio.com　當間モリオ　検 索　Click

當間モリオ ▶▶ ごあいさつ

## 大転換

2009年、これほど不安な年を迎えることはなかったのではないでしょうか。昨年、アメリカの金融危機に端を発した100年に一度と言われる世界同時不況、当初日本は例外と見られていました。しかし、世界不況は、輸出依存の日本経済が、先進国の中でどの国よりも大きな影響を受ける国であったのです。輸出産業（自動車・電機）の大幅な落ち込みによる生産の減少、地域経済の悪化、雇用の悪化は出口が見えない状況で、倒産が相次ぎ、税収は落ち込み多くの自治体で危機的な状況にあります。国民総生産も昭和49年の「石油危機」以来のマイナス13%の下落、戦後最悪の経済状態であります。その中で政治は、呆れるほどの状態でまさに「政治の危機」です。後手後手の経済対策、ばら撒きの「定額給付金」、官僚依存の不透明な政治状況、アメリカに追随することしか出来ない自民党、信頼のないリーダーが何をやってもよくなりません。

今、政権交代が必要です。とにかく一度政治を変えることです。50年以上一つの政党に政権を維持させたこと自体が間違いであり、反省すべきです。無くした信頼を取り戻すことがいまの政治に最も必要です。沖縄の政策も間違いであります。財政依存はますます大きくなるばかりで、36年間の振興策は県民所得や失業率を改善することなく格差は拡がるばかりです。そして、米軍基地問題はなにも変わりません。今一度、根本から政策を変えるべきです。官僚主導ではなく、沖縄が決めるのです。

「変革」「チェンジ」を旗頭に、政治・経済の転換は各界で動き出しています。転換期はチャンスでもあります。輸出依存から内需主導に転換していくことが大切です。それは、農業分野での自給率向上であり、太陽光発電等の自然エネルギーの自給率向上でもあります。環境問題も待ったなしです。大胆な内需、雇用対策予算で、それを各地方に予算の使い道の自由度を与え、自らの知恵で行なえるようにすること。また、介護福祉、教育の充実を図り、協働、共生の社会構築が必要となっているのではないでしょうか。私達は、どんな時代でも耐えて前に進まなければなりません。生き抜いていかねばなりません。政治や経済を「大転換」することで、新しい時代に向かっていける。そのことが私たちの子や孫の為であり沖縄の為になると信じています。

本議会一般質問の様子

## TOPICS


1 平成２０年度 沖縄県議会　一般質問
2 モリオの活動報告（視察・委員会・要請）
3 モリオスナップ 後援会 NEWS
4 新聞掲載記事


## モリオブログ

携帯電話からもブログがご覧いただけます。

※一部対応できない機種がございます。ご了承ください。